

# 海鳥や環境を守ろう

## 植樹の日、ゴミ調査など提案



環境学習を振り返り課題解決に考えた方策を発表する羽幌高校の1年生

### 羽幌高1年生がアイデア

【羽幌】羽幌シーバード習活動を振り返りながら、した環境学習（S・B・D・F・フレンドリー（SBDF））推進活動や自然環境の保全推進委員会と羽幌高校の連携にグループごとに考えた方策を発表した。発表が、22日午前10時45分から同校で行われ、12グループを発表した。同校の1年生引人は、SBDFに分類された1年生が植樹や海岸清掃などの環境学習、総合的な学習の時間を利用して

この日は平成30年度最後の連携授業で、1年間の総まとめとして海鳥保護のために高校生に向けてあるかを考え、提案する場として実施。1年生たちは1グループ5、6人で12グループを作り、環境学習を通して学んだことを課題、その解決に向けた提案などをグループごとに考え、壁新聞にまとめて発表した。

野鳥が風車の羽根に衝突するバードストライクの防止のため、さまざまな角度から風が入るよう穴が開

いている素材で風車の羽根を固めたり、マイクロプラステックが世界的な課題になっている海洋ゴミ問題などの対応に、ゴミを拾い集める、被服委託給水の駐方をめでのリサイクル化、学校SNS（会員制交流サイト）整その紙容器の使用、アンケート調査やフィールド調査を行い、ゴミの多い場所へのポスターやゴミ箱を設ける提案などが上

また、森林の荒廃を防ぐため「みどりの日」を町の植樹の日として設定する、被服委託給水の駐方をめでのリサイクル化、学校SNS（会員制交流サイト）で発信、海鳥保護などの募金活動、高校生による海鳥保護イベントの企画、海鳥の繁殖地の上塗りなど

のポスターや紙芝居も作り、各グループとも「私たちができることに積極的に取り組んでいきたい」などと意気込みを語った。連携授業にはSBDF推進部のメンバー約10人が参加。高校生たちの振り返りや提案に聴き入り、「みんな同じことを行ってきたのに、感じる感じがすいぶん違ふと思った。こちらで考えていなかった発想もあり、良かった」などと、高校生たちの発表に感心していた。（元玉一明）

1 学年が今年度、「総合的な学習の時間」で学習した内容を発表しました。